



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 スタンレー電気株式会社
 コード番号 6923 URL <https://www.stanley.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貝住 泰昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 桑田 郁夫
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03(6866)2222

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	93,058	1.4	2,838	66.0	5,067	51.8	2,573	57.5
2022年3月期第1四半期	94,397	57.7	8,356		10,513		6,056	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 26,811百万円 (114.2%) 2022年3月期第1四半期 12,519百万円 (208.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.09	
2022年3月期第1四半期	37.72	37.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	610,823	509,049	74.0
2022年3月期	585,382	488,962	74.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 452,058百万円 2022年3月期 434,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		25.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	189,000	5.5	14,400	11.0	17,600	8.6	9,600	2.8	60.01
通期	415,000	8.5	34,000	22.6	40,800	11.1	24,600	14.7	153.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	173,000,000 株	2022年3月期	173,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	13,027,184 株	2022年3月期	13,026,964 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	159,972,901 株	2022年3月期1Q	160,572,647 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信[添付資料] P.3 「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、日本、欧米、及びアジア各国で持ち直しの動きがみられました。一方、中国では、景気の回復が続いておりましたが、上海ロックダウンの影響により経済活動が制限され厳しい状況となりました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、為替によるプラスの影響はあるものの、上海ロックダウンや半導体不足による自動車生産台数の減少影響に加え、前期から続く自動車生産計画の急激な変動による固定費負担の増加、及び樹脂材料や部品等調達費用の高騰による影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における、売上高は930億5千8百万円(前年同期比1.4%減)、営業利益は28億3千8百万円(前年同期比66.0%減)、経常利益は50億6千7百万円(前年同期比51.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億7千3百万円(前年同期比57.5%減)となりました。

② セグメント情報の概況

1) 自動車機器事業

当セグメントにおける主な製品は、自動車用ランプ、二輪車用ランプ等です。

関連する市場の動向について、自動車生産台数は、米州とアジアで増加したものの、日本、欧州、中国で減少した影響により、世界全体では減少となりました。一方、二輪車生産台数は、日本で減少したものの、中国で微増し、米州、欧州、アジアで増加した影響により、世界全体で増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、上海ロックダウンや半導体不足に伴う自動車生産台数の減少による影響を受けました。また、自動車生産計画が急激に変動して固定費負担が増加したこと、及び樹脂材料や部品等調達費用が高騰したことによる影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は721億9千7百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は1億7千8百万円(前年同期比95.9%減)となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメントにおける主な製品は、LED、液晶等です。

関連する市場の動向については、車載市場は微減、LED照明市場は増加、AV家電市場は微増となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業は、自動車生産台数の減少に伴い、車載用LEDが減少しました。また、部品等調達費用が高騰したことによる影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は110億7千万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は9億9千4百万円(前年同期比27.0%減)となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメントにおける主な製品は、液晶用バックライト、操作パネル、LED照明、電子基板等です。

関連する市場の動向については、PC・タブレット市場、車載インテリア市場、OA市場は減少、LED照明市場は増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、前第1四半期連結累計期間に比べ液晶用バックライトが増加したこと、及び為替によるプラスの影響がありました。その一方で、自動車生産台数の減少により、自動車用ランプの制御等に用いる電子基板やパネル製品が減少した影響、及び部品等調達費用の高騰による影響を受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は242億8千2百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は18億5千4百万円(前年同期比23.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,108億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ254億4千万円増加しております。要因は、流動資産が146億6千4百万円増加したこと及び固定資産が107億7千5百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金及び棚卸資産が増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、有形固定資産が増加したこと等によるものです。

負債は1,017億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億5千3百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金及び、賞与引当金が減少したものの、リース債務が増加したこと等によるものです。

純資産は5,090億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ200億8千7百万円増加しております。主な要因は、株主資本が14億4千3百万円減少したものの、その他の包括利益累計額が190億4千万円増加したこと等によるものです。株主資本の減少は、配当金の支払い等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、業績予想の変更はありません。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	150,454	162,496
受取手形及び売掛金	68,027	64,513
有価証券	300	300
棚卸資産	49,308	52,902
その他	31,240	33,784
貸倒引当金	△34	△36
流動資産合計	299,295	313,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	74,891	75,986
機械装置及び運搬具（純額）	62,365	63,338
工具、器具及び備品（純額）	24,101	23,809
土地	15,238	15,519
リース資産（純額）	2,398	3,700
建設仮勘定	15,894	18,367
有形固定資産合計	194,890	200,722
無形固定資産		
のれん	748	805
その他	8,181	8,373
無形固定資産合計	8,930	9,178
投資その他の資産		
投資有価証券	74,681	78,248
退職給付に係る資産	890	1,216
繰延税金資産	2,772	3,091
その他	3,922	4,404
投資その他の資産合計	82,265	86,961
固定資産合計	286,086	296,862
資産合計	585,382	610,823

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,246	37,475
リース債務	802	1,073
未払法人税等	3,153	2,668
製品保証引当金	10,478	9,977
賞与引当金	4,650	3,279
役員賞与引当金	177	92
その他	16,131	24,299
流動負債合計	74,641	78,866
固定負債		
社債	10,000	10,000
リース債務	1,780	2,802
繰延税金負債	8,356	8,490
役員退職慰労引当金	51	52
退職給付に係る負債	950	907
資産除去債務	494	495
その他	145	158
固定負債合計	21,779	22,906
負債合計	96,420	101,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,869	29,852
利益剰余金	354,782	353,356
自己株式	△32,313	△32,313
株主資本合計	382,854	381,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,658	26,634
為替換算調整勘定	23,739	41,886
退職給付に係る調整累計額	2,209	2,126
その他の包括利益累計額合計	51,607	70,647
新株予約権	478	500
非支配株主持分	54,022	56,491
純資産合計	488,962	509,049
負債純資産合計	585,382	610,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	94,397	93,058
売上原価	75,567	79,044
売上総利益	18,830	14,014
販売費及び一般管理費	10,473	11,175
営業利益	8,356	2,838
営業外収益		
受取利息	356	474
受取配当金	190	86
持分法による投資利益	424	568
受取ロイヤリティー	316	409
為替差益	767	655
雑収入	242	184
営業外収益合計	2,297	2,379
営業外費用		
支払利息	23	41
外国源泉税	35	31
雑損失	81	77
営業外費用合計	140	150
経常利益	10,513	5,067
特別利益		
固定資産売却益	7	29
投資有価証券売却益	129	—
特別利益合計	137	29
特別損失		
固定資産除却損	892	55
特別損失合計	892	55
税金等調整前四半期純利益	9,758	5,041
法人税等	2,330	1,127
四半期純利益	7,428	3,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,371	1,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,056	2,573

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	7,428	3,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,706	968
為替換算調整勘定	1,099	20,756
退職給付に係る調整額	△107	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	△607	1,262
その他の包括利益合計	5,090	22,896
四半期包括利益	12,519	26,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,931	21,613
非支配株主に係る四半期包括利益	1,587	5,197

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	74,345	7,332	12,715	4	—	94,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	259	4,626	10,888	546	△16,321	—
計	74,605	11,958	23,604	550	△16,321	94,397
セグメント利益又は 損失(△)	4,344	1,361	2,430	△6	226	8,356

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額226百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,178百万円、セグメント間取引消去1,429百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	71,905	6,827	14,324	0	—	93,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	291	4,242	9,957	596	△15,089	—
計	72,197	11,070	24,282	597	△15,089	93,058
セグメント利益又は 損失(△)	178	994	1,854	△21	△166	2,838

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△166百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,762百万円、セグメント間取引消去1,604百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。